

## J21a      **MAXI による突発天体発見システム**

根來 均、三好翔、石渡良二 (日大理工)、 MAXI チーム

来年度春に打ち上げ予定の全天 X 線監視装置 MAXI の突発天体発見システムについて報告する。 X 線新星や X 線バースト等の突発天体の発見は、MAXI ミッションの最重要課題であり、これまでもその開発状況やシステムについて発表してきた。MAXI の突発天体発見システムは、筑波宇宙センターに設置され、宇宙ステーションからダウンロードされるデータを毎秒処理し、突発天体を MAXI が X 線を検出してから最速で 10 秒以内に発見する地上システムである。今回、シミュレーションデータ等を用いたさらなる実践に近い形で試験を行い、また、速報についての取組みについても説明する。

また、MAXI により発見されうる新たなブラックホール新星の数や、期待される BHC におけるサイエンスの進展についても説明する。前者については、現在、ほぼ 1 年に 1 個強の割合で発見されているが、MAXI により毎月発見される可能性を示す。また、MAXI により QPO および High Frequency QPO の検出、また状態 (state) の変化の検出についても説明する。